

令和元年度 事業報告

1) 登録者：令和元年度は 50 名の純増があったので、合計は 18,198 名である。

《純増の内訳》

一般	5 名	長崎ベーシック LC	5 名	諫早 LC	21 名
諫早セントリアン LC	1 名	諫早東 LC	1 名	諫早中央 LC	1 名
大村中央 LC	2 名	島原 LC	2 名	有家西有家 LC	1 名
佐世保中央 LC	2 名	波佐見 LC	7 名	はさみ炎 LC	2 名

合計 50 名

2) 摘出角膜・眼球について

(1) 摘出角膜利用状況は以下のとおりである。(令和 2 年 3 月 31 日現在)

献眼者数	49 名
摘出角膜数	96 眼 (2 名は片眼のみ摘出)
移植利用角膜数	39 眼 (4 眼は、昨年度以前の保存眼を使用)
保存眼数 (表層移植用)	30 眼

※ 31 眼は感染症検査陽性等で利用不可のため廃棄処分にした

(2) 長崎県の角膜移植待機患者数 (令和 2 年 3 月 31 日現在)

長崎大学病院	109 名	長崎医療センター	0 名
佐世保市総合医療センター	0 名		

計 109 名

【参考】角膜移植待機患者人数 (過去 15 年分)

平成 17 年度末：24 人	平成 18 年度末：25 人	平成 19 年度末：24 人
平成 20 年度末：21 人	平成 21 年度末：17 人	平成 22 年度末：17 人
平成 23 年度末：19 人	平成 24 年度末：33 人	平成 25 年度末：51 人
平成 26 年度末：61 人	平成 27 年度末：73 人	平成 28 年度末：95 人
平成 29 年度末：93 人	平成 30 年度末：91 人	令和元年度末：109 人

3) 角膜の広域あっせんについて

他アイバンクへ4眼の角膜をあっせんした。

福岡県メディカルセンターアイバンク	1 眼
久留米大学アイバンク	2 眼
沖縄県アイバンク協会	1 眼

4) 会議・セミナー

(1)第 15 回理事会

令和元年 5 月 16 日 長崎大学病院内会議室

(2)第 7 回評議員会

令和元年 6 月 11 日 ホテルニュー長崎

(3)第 41 回 九州各県アイバンク連絡協議会

令和元年 7 月 26 日 東京 (浜崎・西田)

(4)第 42 回 全国アイバンク連絡協議会

令和元年 7 月 26 日 東京 (浜崎・西田)

(5)第 37 回 アイバンクワークショップセミナー

令和元年 7 月 27 日 東京 (浜崎)

※第 16 回、第 17 回理事会および第 8 回評議員会は、書面による決議の省略を行った。

- ・ 第 16 回理事会 令和元年 9 月 11 日

内容：評議員選任のための評議員会開催の承認

- ・ 第 17 回理事会 令和 2 年 3 月 30 日

内容：令和 2 年度事業計画・収支予算の承認

眼科手術機器の購入および長崎大学病院への寄贈の承認

研究助成費取扱規程の制定

- ・ 第 8 回評議員会 令和元年 9 月 24 日

内容：評議員の選任

5) 厚生労働大臣の献眼者に対する表彰について

厚生労働大臣の献眼者に対する表彰者は 49 名である。

6) 賛助会員について

令和元年度より賛助会員制度を発足した。新規入会については以下のとおりであった。

- ・ 個人：3 名
- ・ 団体、法人：18 か所

7) 普及啓発活動等

(1)令和元年 9月3日

長崎インターナショナルホテルにて大村中央ライオンズクラブ例会が開催され、業務執行理事 上松聖典が「献眼とアイバンク」について講演した。

(2)令和元年 10月6日

長崎市および西彼杵郡在住のアイバンク登録者を対象に目の愛護デー無料検診が行われ、19名が受診した。

場所：長崎あじさい病院眼科外来

主催：長崎県眼科医会、長崎アイバンク

担当：出口裕子医師、大野あかね医師、深澤祥子医師、視能訓練士 2名、浜崎

8) その他報告

(1)令和元年 11月3日

西諫早団地第一公園にて第7回顕彰祭が開催され、理事長 北岡隆、業務執行理事 上松聖典、事務局 浜崎幸子が出席した。

(2)令和元年 11月3日

諫早観光ホテル道具屋にて、(公財)日本アイバンク協会によるアイバンクサポーター講習会が開催され、同協会常務理事 西田輝夫氏に講演いただいた。

(3)令和元年 12月17日

長崎新聞文化ホールにて長崎北ライオンズクラブ忘年例会が開催され、理事長 北岡隆、事務局 浜崎幸子が出席し、長崎アイバンクへの寄附金を受けた。